

コンピュータ概論のレポート

MS-Word & Excel

出題 2016/12/13

学科 数学科

学年 1 年

番号 9999

氏名 栗野俊一

1. Excel で作成した表やグラフを Word で利用する

基本は「コピー&ペースト」を利用するが、そのペースト形式には複数の方法があり、それによって得失がある。したがって、目的に応じて、手段を選択しなければならない。

対象による違い

- グラフと表では張り付け形式の種類が異なる

形式による違い

- リンクするかどうか
 - リンクすると、Word 内の情報と Excel の情報が同期する
Excel の情報を変更すると Word 内の情報も変更される
 - リンクしたデータがあると、MS-Word を起動するときに以下のように、更新するかどうかを尋ねるダイアログが表示される(図 1)。
 - [はい(Y)] を選べば情報は更新される

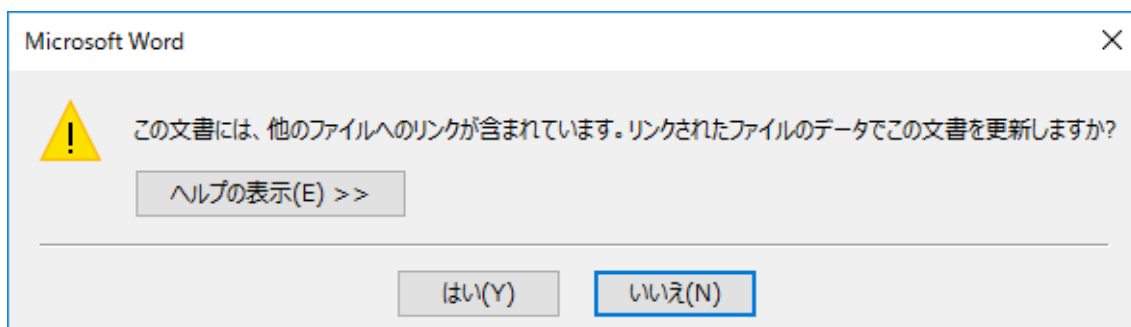


図 1: リンクしたデータを更新するかを尋ねるダイアログ

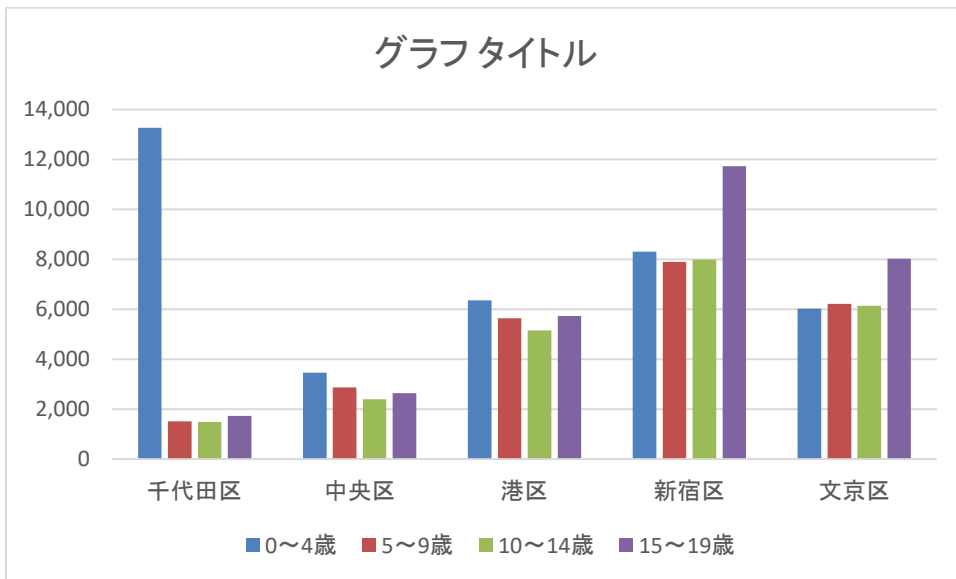
- その代わりに、Word ファイルと一緒に Excel ファイルを持ち歩く必要がある
- 図にするかどうか
 - 図にすると表やグラフの表示が Excel で見たものと同じになる事が保障される
 - その代わりに Word から表内の情報を書き換える事ができなくなる

2. 張り付けの例

2.1 グラフの例

2.1.1 リンクする場合(3. 貼り付け先のテーマを使用しデータをリンク(L))

グラフの内容は Excel のデータとリンクされているので、Excel の内容を変更すると Word 側の内容も変更される



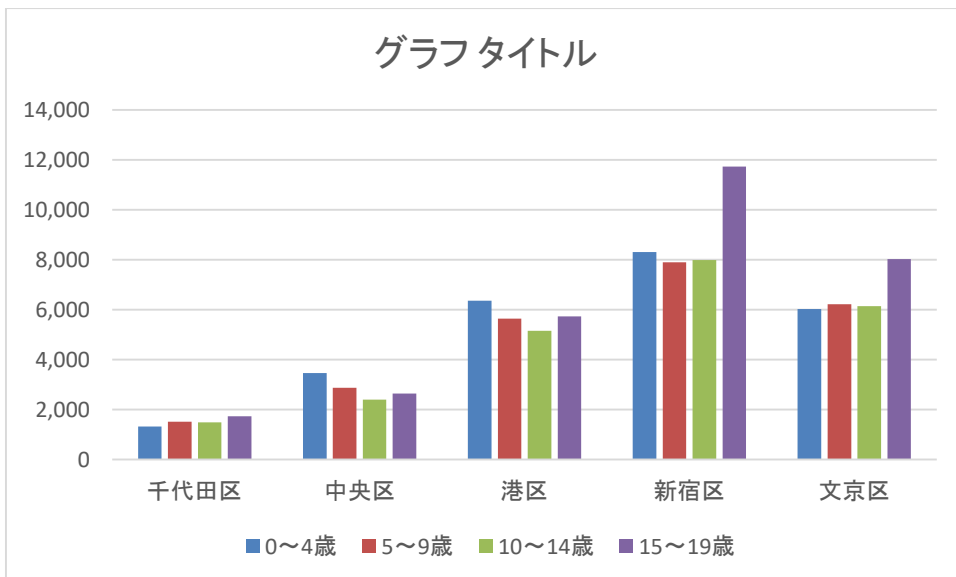
2.1.2 リンクしない場合

グラフの内容は Excel のデータと独立するので、Excel の内容を変更しても Word 側の内容は変更されない。

a) ブックの埋め込み(1. 貼り付け先のテーマを使用しブックを埋め込む(H))

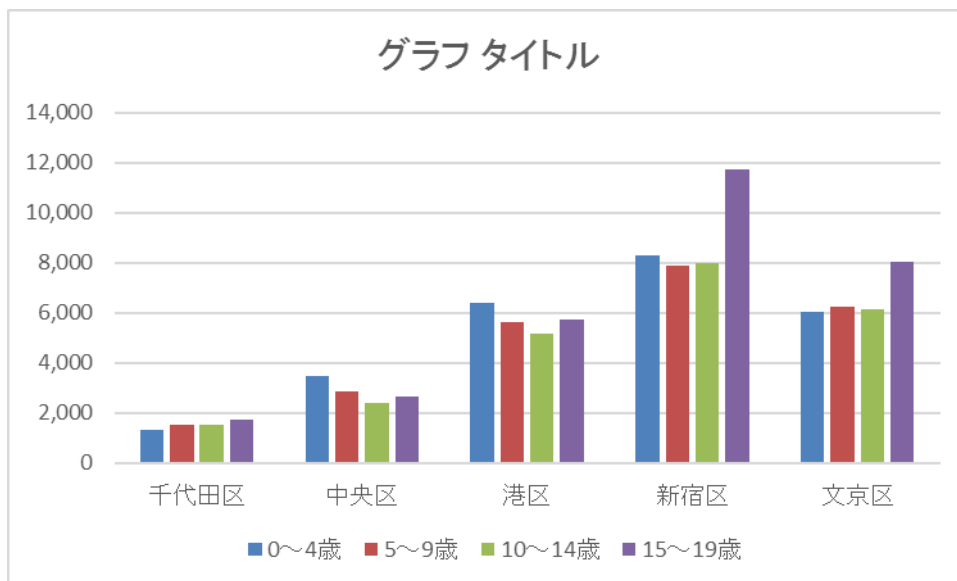
情報はコピーなので、オリジナルとは分岐がおきる。

描画は、MS-Word 側で行うので、編集可能。



b) 図 (5. 図(U))

結果だけをコピー



2.2 表の例

2.2.1 リンク(リンク張り付け)の場合

- 「4. リンク (貼り付け先のスタイルを使用(L))」を指定した場合の例

	0～4 歳	5～9 歳	10 ～ 14 歳	15 ～ 19 歳
千代田区	1,328	1,514	1,494	1,728
中央区	3,470	2,872	2,400	2,640
港区	6,368	5,647	5,157	5,731
新宿区	8,311	7,897	7,989	11,738
文京区	6,027	6,217	6,141	8,026

リンクしたデータがあると、MS-Word を起動するときに更新するかどうか尋ねられる。

2.2.2 リンクしない場合

- 「2. 貼り付け先のスタイルを使用(S)」を指定した場合の例

	0～4 歳	5～9 歳	10 ～ 14 歳	15 ～ 19 歳
千代田区	13,280	1,514	1,494	1,728

中央区	3,470	2,872	2,400	2,640
港区	6,368	5,647	5,157	5,731
新宿区	8,311	7,897	7,989	11,738
文京区	6,027	6,217	6,141	8,026

情報は、Excel から独立していて、数値は Word 内で変更できる。
形式は、罫線付きのデータとなる。

- 「5. 図(U)」を指定した場合

	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳
千代田区	13,280	1,514	1,494	1,728
中央区	3,470	2,872	2,400	2,640
港区	6,368	5,647	5,157	5,731
新宿区	8,311	7,897	7,989	11,738
文京区	6,027	6,217	6,141	8,026

図になるので、レイアウトも含め、Excel での表の形で保存される。

「図」なので、Word からは、内容を変更する事はできない。